

# NewSophia No.4

福岡歯科学園広報誌 | ニューソフィア |

vol.18 [68号]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています



第42回歯学体夏期部門で準優勝した女子バレーボール部



October  
2010



## contents

page

第42回全日本歯科学学生総合体育大会結果／学生ボランティア 2

福岡医療短期大学特集 3

再生医学研究センター開設／本川前教授名誉教授に／大学院特別講義  
戦略的の大学連携支援事業／公開講座 4

FROM THE ALUMNI ASSOCIATION  
同窓会だより 5

HI.FROM CLINICS  
クリニックからこんにちは 6

FROM PARENTS  
保護者からのメッセージ  
病院ホームページリニューアル／日本一を目指して！ 7

平成23年度入学試験／平成22年度オープンキャンパス 8

## 福岡歯科学園

ホームページもご覧ください。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

# 第 4 2 回 歯 学 体 夏 期 部 門

第42回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門(事務主管 徳島大学歯学部)が、7月30日から8月10日にかけて徳島県を中心に各地で開催されました。本学は正式種目25種のうち15種に出場し、バレーボール部とバスケットボール部は共に女子が準優勝、総合で優勝、準優勝と優秀な成績を収めました。

また、硬式野球部も4位入賞を果たしました。剣道は女子団体準優勝・個人準優勝、水泳は女子背泳ぎ個人で3位入賞、弓道とバドミントンも女子が団体6位に入るなど、女性が健闘した大会となりました。

参加校29校中総合優勝は愛知学院大学歯学部で、本学は14位でした。各クラブの成績は下表のとおりです。

参加クラブ	順位	
バレーボール	優勝(同率)	男子8位、女子準優勝
バスケットボール	準優勝(同率)	男子3位、女子準優勝
硬式野球	4位	———
ラグビーフットボール(冬季部門)	5位(同率)	———
剣道	9位(同率)	女子団体準優勝、女子個人準優勝
ヨット	10位	———
硬式庭球	12位(同率)	男子13位、女子14位
ゴルフ	順位確定外	男子11位、女子15位
空手道	順位確定外	———
水泳	順位確定外	女子50m背泳ぎ3位、女子50m自由形6位
柔道	順位確定外	———
サッカー	順位確定外	2回戦敗退
弓道	順位確定外	男子団体15位、女子団体6位
バドミントン	順位確定外	女子団体6位、男子シングルス32位、女子ダブルス16位、16位
ボウリング	順位確定外	———
ボクシング	団体戦優勝	オープン競技



入部し、様々な経験をたくさんしてきましたが、何より同級生、先輩方、後輩たちに出会えて本当によかったと思います。

バレーボール部



バスケットボール部

5年生の最後の大会にふさわしい試合内容で、思い出に残るデンタルとなりました。



硬式野球部

昨年は1回戦敗退でしたが練習の成果でベスト4入り！来年はさらに上を目指します。



剣道部

後輩たち、特に初めて参加した1年生に感動を与えるような、素晴らしい試合でした。



ヨット部

全員が一つの目標に向かい、団結して取り組み、よい経験を積んだと思います。



硬式庭球部



水泳部



弓道部



バドミントン部



ボクシング部

## 乗車マナー向上キャンペーンへの参加で福岡市交通局より表彰

7月26日、「福岡市地下鉄開業記念式」において、福岡市交通局より「乗車マナー向上キャンペーン」における福岡歯科大学学友会および福岡医療短期大学保健福祉学科の学生による積極的なボランティア活動が、地下鉄乗車マナーの向上に貢献しているものとして、「交通局市民等表彰」を受け、福岡歯科大学5学年の宮内雄一郎さんが代表で感謝状を受領しました。



福岡市交通局より表彰

## 田新町夏祭りに、ミュージックアソシエーションがバンド演奏で参加

7月31日、毎年恒例となった田新町夏祭り盆踊り大会に、福岡歯科大学学術文化部ミュージックアソシエーションがバンド演奏で参加し、夏祭りを盛り上げました。



田新町夏祭り

## サンシャインシティの納涼祭

介護老人保健施設サンシャインシティの納涼祭が8月1日に開催されました。

かしわ飯、たこ焼き、綿菓子、ヨーヨーつりなどのバザーのほか、フラダンス、総踊りなどが披露され、利用者やご家族、地域および学生ボランティアの方々や職員などが多数参加し、楽しい一時を過ごしました。

## サンシャインプラザの夏祭り

介護老人福祉施設サンシャインプラザの夏祭りが8月7日に開催されました。利用者や学生ボランティア、職員による芸芸やカラオケなどが行われ、夏の暑さを一時忘れさせるほどの大盛會となりました。

# 福岡医療短期大学特集

## 歯科衛生学科

### 学内実習の様子

歯科衛生学科では、予防処置、診療補助、保健指導に加え、訪問診療や高齢者の口腔ケアを実践できる歯科衛生士養成を目標に、1学年前期から専門的な実習教育が始まります。

1学年では、マネキンでの口腔内観察、バキューム操作、歯石除去などの実習に加え、診療実習室で学生相互に口腔内観察と洗浄、バキューム操作、デンタルチェアの操作を学びます。後期は歯科用セメント・印象材・模型材の取り扱い、学生相互の歯石除去、齲蝕活動性試験と齲蝕予防処置、印象採得、ブラッシング指導を実践的に学びます。2学年では、学生相互の口腔内診査、歯石除去、印象採得、ブラッシング指導、口腔内写真撮影、シーラント充填、フッ素塗布などの総合実習へと進みます。また、3学年での介護施設実習のために、食事介助、口腔清掃、口腔ケアプランの立て方などについても学びます。写真は1学年前期の相互実習が始まって間もない頃のひとコマです。



### 頑張っています 卒業生!



川原三和さん(写真左)

私は鹿児島大学医学部歯学部附属病院歯科診療棟の歯周病科で現在働いています。歯周病科では外来患者様は色々な全身疾患をもつ方が多く、また医科の入院患者様も受診されます。お口の中だけでなく、全身の管理を行いながら治療をすることで、患者様に安心、安全に治療を受けて頂けるよう、日々知識、技術の向上に努めています。まだまだ力不足ですが、短大での三年間と専攻科での一年間が、今の私の基礎となっています。特に臨床実習では、患者様との関わり方など教科書では学べないことを多く学ぶことが出来ました。これから、歯科衛生士として、一人でも多くの患者様を笑顔に出来るように関わっていけたらと思います。

## 保健福祉学科

### 学内実習の様子

保健福祉学科は2年間で様々な実習を通じて介護技術を学びますが、今回はそのうちの一つ、学内での実習をご紹介します。2学年になると領域:介護「生活支援技術Ⅱa」として1学年で学んだ口腔ケアの基本技術に加え、ターミナル期を想定した口腔ケア技術を歯科衛生学科の堀部准教授より学びます。お互いに要介護者役の体験を必ず行い、「口の中がネバネバしていると気持ち悪い」「口の中が気持ちいいと気分がすっきりする」など相手の立場にたったケアについて考えながら実習します。要介護者が最期の時まで、口の中が気持ちよく保てること、口の機能を維持して少しでも食事や好きな物が味わえることなどを、「何とか叶えたい!」と学生達は熱心に学びます。毎日の生活を支える介護福祉士には、口腔内に関わることも密接に関係していて、将来現場に出たときに必ず役立つことでしょう。



### 頑張っています 卒業生!



佐藤裕美さん(写真左)と竹之内愛さん(写真右)

こんにちは。福岡医療短期大学保健福祉学科9期生の佐藤裕美(早良高校出身)と竹之内愛(宮崎学園出身)です。今年の4月からサンシャインプラザで働いている新米の介護福祉士です。ユニットの先輩や入所されている方々から毎日多くのことを学んでいる最中です。振り返って3月まで学生だったことを考えると、あっという間の半年でした。最初は勤務の中で覚えることもたくさんあったり、入所されている方とのコミュニケーションに緊張したり、失敗して落ち込んだりする毎日でした。入所されている方々は自分が育った時代の事や戦争の事、大変な苦勞をされた事など波乱万丈な内容のお話をたくさん聞かせてくださいます。人生の先輩として本当に尊敬しています。9月からは苦しい症例発表会なども、先輩方の助けを借りながら準備に取り組んでいます。社会人1年生としても、これからたくさんの経験を積んでます。ますます頑張っていきたいです。サンシャインプラザの皆さん、これからも宜しくお願いします!

## 再生医学研究センター開設

歯科医療工学分野松家茂樹教授が代表として申請した「生体内環境を調和する硬組織再建システム」が、今年度、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されました。このプロジェクトは5年間で約1億4,000万円の助成が予定されており、学内外の研究者のチームで実施されるものです。また、プロジェクトを効率的に推進させるための組織として9月の理事会で再生医学研究センターの開設が認められました。今回は、このプロジェクトがもたらすいろいろな可能性について代表者の松家教授に抱負を伺いました。

**Q.今回、先生の申請が採択されておめでとうございます。まず、本プロジェクトの目的を教えてください。**

**A.**ご存知のとおり高齢者は、口腔領域においても、歯周病や口腔癌等の骨喪失や骨脆弱化を伴う疾患が急速に増加しており、骨組織に対する再生治療の確立が要望されていますが、歯牙喪失によって急激に骨が萎縮したり、細菌感染しやすい等、骨組織再建が難しい環境にあります。本プロジェクトでは当面の目的として、骨形成を

促進するような生体内環境を誘導(骨形成バイオリクター)し、口腔領域における硬組織欠損の再建システムを構築したいと思っています。

**Q.松家先生は新しく開設された再生医学研究センターのセンター長になられますが、このセンターの狙いとは何ですか。**

**A.**研究計画を推進するためには、学内外、国内外を問わずプロジェクトに参加する研究者間の相互協力が欠かせません。現在、学内11名、学外3名(九州大学、クインメリー大学、バーミンガム大学)の研究者が本プロジェクトに参加しています。また、研究の方向によっては、新しい、あるいは異分野の研究者の参加も今後考える必要があります。そのため、センターを中心とした計画的なプロジェクトの遂行が重要だと考えています。センターでは、今後、共同研究の提案、新しい研究手法の習得を目的とした勉強会、セミナー等を開催していきたいと考えています。

**Q.本プロジェクトを行うためにどのような環境整備を計画されていますか。**

**A.**主な設備備品として、実験動物に埋入した材料の生体内での挙動を動物が生きたまま観察することができるin vivoマイクロX線CTスキャナ

(約5千万円)を設置しようと思っています。また、専任教員及び事務職員を採用する予定です。

なお、センターは、学内外研究者が自由に利用できるよう開放し、センター所属機器についても共同利用の申し出がある場合は、可能な限り便宜を図りたいと考えています。

**Q.最後に、本プロジェクトの将来像について教えてください。**

**A.**当面は、申請テーマの目的である硬組織再建システムの構築を目指して開発研究を遂行しますが、将来的には、生体材料と生体との関わりといった基礎的研究にも対象を広げ、工学のおよび生物学的分野が融合するような学際領域的な学問分野を作り出すことも視野に入れています。できれば、この研究を基礎とした硬組織の再建が臨床でも利用できるように頑張ろうと思っています。

このセンターを中心としたプロジェクトについて分かりやすく解説していただきました。この研究センターの活動は、本学の研究基盤を強化し、本学の研究推進の中心になっていくことが、強く印象付けられました。本日は、どうもありがとうございました。

## 本川前教授、名誉教授に

8月9日、本川渉前教授(成育小児歯科学分野)に福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。



本川名誉教授は、昭和48年5月から、平成22年3月に定年退職されるまでの37年間、教育・研究・診療に大いに力を尽くされ、3期の病院長の任務を全うされるなど、教育改革や病院改革などに手腕を発揮されました。

## 大学院特別講義

7月12日、21日、本館5階501教室において、南カリフォルニア大学Yanase教授、ボストン大学Mochida准教授による大学院特別講義(公開講座)が開催されました。本学とYanase先生が所属する南カリフォルニア大学は、昨年国際交流の覚書を交わしており、今回が交流の第1歩になりました。大学院生をはじめ教員も熱心に耳を傾けていました。



7月12日 Roy T. Yanase  
南カリフォルニア大学歯学部  
臨床教授



7月21日 Yoshiyuki Mochida  
ボストン大学歯学部  
口腔生物学講座 准教授

## 文部科学省戦略的大学連携支援事業 『口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考』

### 第29回日本歯科医学教育学会学術大会シンポジウム

7月24日、岩手医科大学講堂において、第29回日本歯科医学教育学会学術大会のシンポジウムとして、『口腔医学を見据えた歯科医学教育の再考』(コーディネーター:本田武司常務理事)が開催されました。

北村憲司大学長、他5名のシンポジストによる講演が行われました。

### 口腔医学国際シンポジウムのお知らせ

日時:12月4日(土) 13:00~18:00  
場所:アクロス福岡 4階国際会議場  
テーマ:Grand Design for Future Dentistry  
講演者:田中健蔵 理事長、M. Michael Cohen Jr. 教授 (Dalhousie University) Tateyuki Iizuka 教授 (University of Bern) David A. Nash 教授 (University of Kentucky) 高戸毅 教授 (東京大学)、戸塚靖則 教授 (北海道大学)  
討論:《Facilitator》北村憲司 大学長  
問合せは福岡歯科大学企画課まで

## 公開講座のご案内

### 第6回健康まると福岡歯科学園

日時:10月23日(土) 11:00~18:00、24日(日) 10:00~18:00

場所:福岡歯科大学

「田の歯科祭」・「からだの科学展」・「医科ミニ講座」・

「歯科無料相談」(24日のみ)

「短大企画 口から始める介護予防」・「介護無料相談・介護施設見学」

#### 講演会

10月23日(土) 13:30~14:30

テーマ:「歯科医院で活用できる

アロマとイギリスでの医療社会」

講師:イネス多恵子

(ギルフォードカレッジ・オブ・アロマセラピー 学長)

10月24日(日) 13:30~14:30

テーマ:「ドライマウス・ドライアイ」

講師:池邊哲郎(福岡歯科大学口腔外科学分野 教授)

向野利一郎(福岡歯科大学眼科学分野 助教)

○受講料:無 料

○申込方法:受講希望日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記の上、電話、FAX、E-mail、またはハガキにて下記宛にお申込み下さい。受講票をお送りします。

○申込先:福岡歯科大学 企画課 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

TEL:092-801-0411 FAX:092-801-3678 E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

### 福岡歯科大学学会総会

日時:12月12日(日)

9:00~17:30

場所:福岡県歯科医師会館

大ホール

(福岡市中央区大名)

問合せ先:福岡歯科大学学会事務局

TEL:092-801-0411

E-mail:gakkai@college.fdcnet.ac.jp

### 地下鉄七隈線

治線3大学

合同シンポジウム

日時:平成23年1月22日(土)

場所:福岡大学病院

福大メディカルホール

テーマ:「メタボ・糖尿病の克服に

向けて」

~口腔・栄養・代謝から見た管理・

治療戦略~

### 田中理事長、宮崎宮放生会の灯籠揮毫

福岡市東区の宮崎宮で開催された放生会において、田中健蔵理事長揮毫の灯籠「節義の心」が展示されました。



田中理事長と展示された灯籠

# From The Alumni Association

同窓会だより

## ■ 学術研修会「有床義歯における難症例へのポイント」

～高橋 裕教授(咬合修復学講座 有床義歯学分野)をお招きして～

7月10日、長崎県歯科医師会館において「有床義歯における難症例へのポイント」と題して高橋教授にご講演を賜りました。ここ数カ月、坂本龍馬ブームで観光客が多く賑やかな長崎ですが、当日はなんと大雨。しかし、さすが高橋教授です！龍馬ブームに負けず劣らず、県内各地より多くの同窓の先生方が参加されました。まず冒頭に大学の施設や教育システムの紹介があり、その大きく様変わりした姿に、自身の在学中と比較して卒業年度の早い先生ほど大変驚かれていたのが印象的でした。

さて今回は身近で毎日のように遭遇する内容で、明日から臨床にすぐ活かせるテーマということで有床義歯の難症例についてご講演をお願いしました。現在、どちらかと言えばインプラントに関する話題が多く、近い将来義歯は無くなるという極端な言い方をされる先生もいるとのこと。しかし、実際はインプラント専門施設においても下顎が無歯顎の場合、多くは義歯で対応がなされています。因みに2004年の調査で日本の17施設の平均はなんと93%でしたし、海外においても義歯の方が多いという結果だったそうです。そこで無歯顎の割合を比較してみると、日本人

の65才以上では18%、米国は26%、フィンランドは41%、英国は46%、カナダは58%、アイスランド72%だったそうです。もう少し若い年代や多数歯欠損を加えるとその割合はかなり多くなるものと思われま。これからも毎日、日常臨床において有床義歯と関わることになりそうです。義歯については、印象における粘膜面、頬舌側の研磨面やデンチャースペースに関しても重要ですが、今回は総義歯における咬合様式に絞って話をされました。顎堤が良好の場合はフルバランス、平均的な場合はリングライズド、難症例の場合、上顎は槽歯頂に排列し咬合面は出来るだけフラットに近い形態で下顎頬側咬頭のみを接触させる様式、これを高橋教授はブッカライズドと言

われていましたが、松本洋一先生(元学長)が提唱された難症例の咬合様式だそうです。これらを症例ごとに分けし、一つの目安として採用されているそうです。あつという間に時間が過ぎ詳しくお聞きしたい箇所が数多くありましたが、まずは教えて頂いた内容を実践し次回のご講演を楽しみにしたいと思います。

終了後、場所を中華街に移し教授を囲んで宴を持ちました。宮口会長ご夫妻が補綴学教室の先輩という事も時折緊張されているご様子でしたが多くの先輩後輩で懇親を深めました。

高橋教授におかれましては公務多忙の中、ご来崎頂き再度感謝申し上げます。

長崎県同窓会(歯ってん会)会長 俣野 正仁



## ■ 同窓会通信 「大阪、地下鉄御堂筋線にて」

猛暑の続く8月7日、午後9時前、「御堂筋線なんば駅」へ田中健蔵理事長と北村憲司大学長を送りました。本学大阪府同窓会会員懇親会に出席後、田中先生達は、「新大阪駅」から新幹線で帰博の途につかれたのです。

この日の午後3時半から、大阪府同窓会総会、近畿ブロック学術講演会、近畿ブロック報告会がありまして、この報告会出席のため田中先生達は来阪されたのです。この報告会では、まず、成瀬 悟名誉教授(元薬理学教授)が、高嶺明

彦副会長へ参院選不出馬に関するの労いの言葉、本学の定員割れへの懸念、同窓生からの教授就任の期待など熱く語られました。

これに対し、田中先生は、入学定員割れについてその具体策として、来春大阪で入試会場を設けることへの協力依頼をされました。また「口腔医学の推進」や同窓生からの教授就任の強化など、本学運営への強い姿勢が感じられました。

既に、法人と本同窓会は協力して、5月30日、

7月4日両日、同窓生子弟を対象に「オープンキャンパス」、「入試説明会」を開催し、盛況でした。このように、来春の定員充足に向けて早々の諸々の対処がされています。

博多駅に、新幹線が着くのは深夜午前0時頃、地下鉄のホームに消えて行く田中・北村両先生の背中を見ながら、母校の頑張り同窓会としてもできる限りの協力をしなければと思った次第です。

専務理事 武井 俊哉

## 卒業生トーク

### 「修行僧!？」 池田 正博(18期)



みなさんこんにちは。18期の池田正博です。平成8年卒ですから、私が卒業してやがて15年となります。こうやって書いてみると、月日がたつのは早いものだと、改めて驚いております。

15年も経てば、その間にいろんなことがあります。技術、知識の研鑽、開業、家庭においては子供たちの成長に伴ってのさまざまな事柄…。そのひとつひとつがそのときそのときの課題みたいなものでして、その課題を履修しなければならない、まるで修行僧のように日々を送っている感じでした。本当に頑張ってますって感じで(笑)。

そんな中、数年前にご縁があり所属の歯科医師会にて委員会活動に参加させていただくようになりました。

当初はそんな“修行僧”状態でしたから、この上、委員会活動までは…と正直あまり前向きではなかったんですが、ふたを開けてみると、この委員会活動での同窓の先生方との出会いを通じて新たな発見が出来たんだな、と、今は感じています。

まるで部活の先輩、後輩のような感覚で、同窓生、同業者の後進の育成に対する考えやその実践されている姿を、気さくに、以前からの友であるかのように見せていただける。

“修行僧”であった私には今までさほどの横のつながりもなく“個人的な修行”の日々だったため、こんなことは驚きでした。そして、その先生方の同窓生や大学に対する思い、ひいては社会貢献に対する考え方には、違った角度の“修行”をさせていただき、かつ、先生方の懐の大きさに感銘を受けたのでした。

最近はこの新たな角度の“修行”を通じて、社会に対し、歯科医師として、また同窓生としてのあり方を諸先輩方に教えを請いつつ、自分も懐の大きい“修行僧!”になれるよう頑張りたいと思っています。



「よい歯のコンクール」表彰式にて

## 二人三脚



同窓生の皆様こんにちは。宮崎県日向市で開業しております16期生の神村正人と申します。

宮崎県日向市は、人口5万人ほどの自然がとても豊かな町です。特にサーフィン是有名で、全国からサーファーが訪れます。毎年8月には、全日本医科歯科学学生サーフィン大会が開催されていますのでご存知の方も少なくないとおもいます。(今年は残念ながら口蹄疫で中止です。)

私はと言いますと、妻(21期生)の実家を継承開業して、早くも5年目になりました。患者さんに、楽しく通っていただく院内新聞を発行したり、院内でイベントを企画したりと、妻と二人三脚で、充実した毎日を送っております。また、産婦人科の母親教室に向いて予防の大切さの説明をしたり、保育園、幼稚園や、子育て支援センターなどで、フッ素説明会を行い、子供たちの未来をより明るいものへと、微力ながら少しでも地域に貢献出来ればと考えております。

現在は、福岡歯科大学のインプラント科の専修生として松浦教授ご指導のもと勉強させていただいております。今年は、念願のインプラント専門医を取得させていただきました。自分で納得できる治療にはまだまだ達成しておりませんが、振り返ると少しは成長したかも、と言う実感が明日への活力となっております。

最後になりましたが、福岡歯科大学の今後の益々の発展をお祈り申し上げます。そして、この場をお借りしてお世話になりました諸先生方に感謝申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

あんどう歯科医院 かみむらインプラントセンター(宮崎県日向市)  
 神村 正人(16期)

写真上=診察風景(七夕は浴衣で診療)  
 写真下=筆者(前列右)とスタッフ



## 感謝



福岡市中央区で開業しております13期生の萩原聖雄と申します。卒業後、大学院にて口腔細菌学(現 機能生物化学講座感染生物学分野)を専攻、大学院卒業後、春日市開業の花田勝弘先生にご指導を頂き、その後4年間代理院長を経験して平成14年はぎはら歯科医院を開業致しました。

開業して8年という月日があっという間に過ぎました。開業当初、理想と希望をもってはりきって診療を行ってききましたが、開業後4か月して体調を崩してしまい、1か月の入院生活を余儀なくされることになりました。開業したてで、休診するわけにもいかず、診療所はどうしようかと思った時、助けてくれたのが大学時代の友人達、スタッフでした。代診を探してくれたり、又自ら代診をしてくれたりと、未熟な私の為に尽力してくれました。そのおかげで復帰するまでの1か月間、1日も休診することなくすみました。この時、健康であることの大切さ、又自分は周りの人達に助けられながら生きているのだと改めて実感致しました。

現在は適度な運動をして体調を管理しながら診療に励んでおります。中々思うようにいかないこともありますが、時折研修会に参加し、少しでもスキルアップできるよう努力していきたいと思っております。

まだまだ未熟ではありますが、より良い歯科治療を目指し、地域歯科医療に貢献できれば幸いです。

厳しい時代ではありますが、同窓生の皆様の御健康と御活躍を心より御祈り申し上げます。

はぎはら歯科医院(福岡市)  
 萩原 聖雄(13期)

写真上=医院外観  
 写真下=筆者(中央)とスタッフ



# 保護者からのメッセージ FROM PARENTS



宮坂 圭太  
(福岡歯科大学)

「**変わらないもの、**」

われわれ1期生が福歯大キャンパスに入学したのが、今から37年前の昭和48年だった。まわりには畑以外に何も無いところに大学だけがあった。現在は娘が同じキャンパスで学んでいる。最近、実習室を見学する機会があったが、設備は当時とは比べようがないほど新しく充実している。モニターがひとりひとり用意され、教官のデモを見るのに、周りを取り囲み椅子の上に肩を並べてみる事はもう無いであろう。

時代は新しく変化していくばかりである。診断能力の向上は目を見張るものがあるが、われわれの頃と少しも変わらないものもある。抜歯や根管治療、歯の切削形成、義歯作成などの技術についての根幹は何も変わっていないと思う。歯科医は技術屋さんの要素も強い。どんなに技術が進んでも、ロボットが

自動で義歯を作成する日が来るとは考えられない。われわれ歯科医は心を持って患者さんの治療に向かって、共に支えあう関係でありたい。それが「かかりつけ歯科医」としての道である。

昨年、自動車レース(F1)から撤退する記者会見の場でトヨタの豊田章男社長が、「小さくても腕の良さで支持される『町の歯医者さん』のような会社になりたい」と発言した。歯科医院がこうに評価されていたのかと改めて考えさせられた発言だった。車づくりと同様に歯科医師にも、高い安全性と品質が要求される。

患者さんと歯科医の立場は時代が変わろうと、変わることはない。患者さんの声に耳を傾け、腕の良さで支持される「町の歯医者さん」と評価されるよう、歯科界全体で努力していけたらと思う。



佐々木 次郎  
(福岡歯科大学)

「**心**」

わがまま放題に育った我が子を送り出し、あっという間に3年が経過していました。と同時に父兄後援会副会長という大役をまかされた私も知らない間に2年が経過していました。

この新しい環境の中で、娘も私もまわりの方々に支えられ試行錯誤しながらここまでやってこれたというのが実感でございます。

近年、ネット社会、うつ病、自殺など頻繁に聞かれるこの言葉の意味を私達はどのように理解すればよいのでしょうか。

「情報だけは知りたくなくても真偽もわからないのに入り込んでくる中で、何を信じ、何を目標に生活していけば良いのか……かつてバブル全盛期を経験した私達親世代は今の時代からするとどこか変だ。」とある人が言いました。確かにあの頃は、今より活気があったし、後先考えず行動してもどういかなかった。そんな時代だったような気がします。

平成の時代に育った子供達は、私達が心配するよりもずっと堅実的で意外に消極的のようです。

その時代にあった生き方をするのが望ましいでしょうが、いつの時代にも決して変わらないもの、それは「心」だと思うのです。何をやるにも心があるのではないのでは、必ず結果が違ってきます。私達は歯科医師である前に、心をもった一人の人間であるということに常に自覚なくてはならないと思います。このことを子供達に押しつけてではなく伝えていかなくてはなりません。

そして決して負けることのない強い心を持ってほしいと切に願います。生きていくのが大変厳しいこの時代、心に余裕のある生活を送るには、一日の大半を占める仕事が自分にとって生きがいを感じるものであり、自信につながるものであったらそれは何とすばらしい人生でしょうか。私と同じ職種につくであろう我が子に痛切に願うのは私だけではないと思います。

最後になりましたが、常に子供達のサポートを誠心誠意やっくださる教授の先生方、その他、事務方の皆様、父兄を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

## 福岡歯科大学医科歯科総合病院 ホームページをリニューアル

7月9日、福岡歯科大学医科歯科総合病院ホームページはトップページを中心としたリニューアルを行いました。今回のリニューアルは、昨年7月の大学ホームページリニューアルに引き続いての第2弾となります。より見やすく、分かりやすいホームページにするためのデザイン変更や、より迅速な情報提供が行える機能の追加等を行いました。

今後も患者様や医療関係者の皆様、そして地域の皆様方によりよい情報を提供できるよう努力してまいります。

福岡歯科大学医科歯科総合病院  
トップページ

<http://www.fdcnet.ac.jp/hos/index.html>



福岡歯科大学医科歯科総合病院 トップページ

## 日本一を目指して!

本学・荒川 周幸臨床教授のご尊父荒川徳政氏が代表を務める日昇漁業(長崎県対馬市)の定置網で、7月13日、全長3メートル、胴回り2メートル30センチ、重量456キロの巨大クロマグロが水揚げされ、話題となりました。出荷された東京・築地魚市場での450キロ以上のまぐろ水揚げは国内では初のこと。

本学も、口腔医学の確立を旗印に、日本一の医療・保健・福祉の総合学園を目指して引き続き改革に取り組んでいきたいと思ひます。

水揚げされた巨大クロマグロと荒川徳政氏



# 【平成23年度入学試験】

## 福岡歯科大学

歯学部				大学院 歯学研究科	
区分	推薦・指定校推薦入試日程	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	二次募集
募集人員	約25名	約30名	約6名	約5名	18名(一次・二次合わせて)
出願受付期間	H22.10.20(水)～11.2(火)	H23.1.4(火)～1.28(金)		H23.1.24(月)～2.17(木)	H23.1.24(月)～2.10(木)
試験日	11月3日(水)	2月2日(水)		2月21日(月)	2月17日(木)
合格発表日	11月5日(金)	2月4日(金)		2月23日(水)	3月1日(火)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a>				 QRコードはこちら

## 福岡医療短期大学

歯科衛生学科									専攻科・口腔保健衛生学専攻		
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程 (社会人を含む)	一般入試B日程 (社会人を含む)	一般入試C日程 (社会人を含む)	一般入試D日程 (社会人を含む)	AO入試 (社会人を含む)	一次募集	二次募集	三次募集
募集人員	約10名	約10名	約5名	約15名	約5名	若干名	若干名	約35名	約15名	約5名	若干名
出願受付期間	H22.11.1(月)～11.11(木)	H22.11.1(月)～11.11(木)	H22.12.1(水)～12.9(木)	H23.1.4(火)～1.28(金)	H23.2.2(水)～2.16(水)	H23.2.21(月)～3.9(水)	H23.3.14(月)～3.25(金)	詳細は入試係までお問い合わせください。	H22.11.17(水)～12.8(水)	H23.1.4(火)～1.12(水)	H23.3.22(火)～3.28(月)
試験日	11月13日(土)	11月13日(土)	12月11日(土)	2月1日(火)	2月18日(金)	3月11日(金)	3月29日(火)		12月11日(土)	1月15日(土)	3月29日(火)
合格発表日	11月19日(金)	11月19日(金)	12月16日(木)	2月4日(金)	2月25日(金)	3月15日(火)	3月30日(水)		12月16日(木)	1月21日(金)	3月30日(水)
保健福祉学科											
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程 (社会人を含む)	一般入試B日程 (社会人を含む)	一般入試C日程 (社会人を含む)	一般入試D日程 (社会人を含む)	AO入試 (社会人を含む)			
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名			
出願受付期間	H22.11.1(月)～11.11(木)	H22.11.1(月)～11.11(木)	H22.12.1(水)～12.9(木)	H23.1.4(火)～1.28(金)	H23.2.2(水)～2.16(水)	H23.2.21(月)～3.9(水)	H23.3.14(月)～3.25(金)	詳細は入試係までお問い合わせください。			
試験日	11月13日(土)	11月13日(土)	12月11日(土)	2月1日(火)	2月18日(金)	3月11日(金)	3月29日(火)				
合格発表日	11月19日(金)	11月19日(金)	12月16日(木)	2月4日(金)	2月25日(金)	3月15日(火)	3月30日(水)				
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a>								 QRコードはこちら		

# 【平成22年度オープンキャンパス】

## 福岡歯科大学

大学では、8月1日と8月22日の2日間オープンキャンパスを開催しました。当日は、学内施設見学のほか、模擬実習『コンピューターでインプラントの手術をしてみよう』(8/1)、『歯をきれいにしてみよう』(8/22)などが行われました。

模擬実習の様や参加者の声(アンケートより)などをホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。



模擬実習「歯をきれいにしてみよう」



施設見学

## 福岡医療短期大学

**実施日**  
10月期:10月16日(土) 1月期:1月15日(土)  
11月期:11月20日(土) 2月期:2月18日(金)  
12月期:12月11日(土) 3月期:随時

学園内施設見学のほか、歯科衛生学科ではブラッシング等の歯科衛生士体験、保健福祉学科では車椅子の介護体験を行います。

●メールに下記項目を明記のうえお申し込みください。  
参加者氏名(フリガナ)・参加希望学科・学年・高校名・住所・電話番号・参加人数



メールでのお申込みはこちら



歯科衛生学科



保健福祉学科